

# 夜会 —「場」から創る—

2010年10月9日 川口市立アートギャラリー・アトリア / KAWAGUCHI ART FACTORY



Art Gallery ATLIA  
KAWAGUCHI ART FACTORY



ンスインストールなるものの考案があげられます。また、著しい発案には至らないながらもコラボレーションの制作過程で私が得たものは、自身で作上げていた「アートの規則のような殻」に小さな風穴が開けられ、楽しそうな世界につながる道を覗けたということです。さらに、人との交流の経験が培われたということも、孤独に取り組みがちなアーティストにとっては大切な経験になったように思います。うまくいった経験も、うまくいかなかった経験も肥やしとして消化し、次の活動につなげていけたら、また新しいつながりと広い世界が待っていると思わせてくれた〈夜会〉でした。

藤井香 (SMF運営委員)

〈夜会〉に関して、僕はとても大きな感謝とひじょうに深い悔しさを持っています。SMFに誘ってくださった中村誠さん、〈夜会〉を提案された藤井香さん、そして参加した大勢のダンサー・音楽家・パフォーマーの方々、また本番当日にスタッフとして活動した柴山拓郎さんの柴山研究室(東京電機大学)やSMFの委員の方々など、〈夜会〉に関わってくださった方々全員に言葉には尽くせぬ感謝の思いを抱えています。とても貴重な経験をする事ができました。

一方、その悔しさはいくつもありますが、何よりも本番当日の自分のパフォーマンスを失敗したこと。未熟さによる完璧な失敗でした。当日の大雨に対して冷静な対応ができずに、本来はスタッフの方々に指示を出さなければならぬ立場にあったのに自分がやってしまい、結果としてまわりの状況が把握できなくなり、普段はいちばん大事にしている「その時、その場所の状況に合わせて最適なパフォーマンスをする」ということができなかったりしていませんでした。状況を冷静に観察して適切な判断ができていれば、大雨という状況もおおいに表現に活かすことができたはずでした。事前に練習を重ねて本番に臨んでいるダンサーや音楽家に比べれば、パフォーマーである自分はもっと自由に臨機応変に表現をすべきでした。僕は結

2010年10月9日、雨脚が強まる中、野外用機材のセッティングを終えたとともに、音楽・パフォーマンス・ダンスによるコラボレーション〈夜会—「場」から創る—〉の幕が開きました。

〈夜会〉の一方のステージは「川口市立アートギャラリー・アトリア」。アトリアは、建物の片面が全面ガラス張りという開放的なスペースです。そのガラスの向こうには、晴天なら夕闇を美しく演出する電灯が灯り、秋の夕暮れを楽しむ広場がひろがるのですが、〈夜会〉当日はあいにくの土砂降りとなり、重い夕闇につつまれていました。館内でおこなわれたプログラムは、渡辺豊重さんのユーモアあふれる彫刻作品や広やかな館内の影響を受けて、明るさや親しみやすさが強調されたものになりました。これに対して、雨のなかでの野外プログラムは迫力あるコラボレーションへと変貌し、この「場」で発表をする必然性とテーマを力強く主張していました。

もうひとつのステージである「KAWAGUCHI ART FACTORY」は、鋳物工場を活用した特殊な空間です。スペースは六つの部屋に分かれ、それぞれが過去にタイムスリップしたような雰囲気をかもし出しています。ここでは各部屋での上演を同時に展開し、観客

はタイムテーブルと見取り図の書かれたプログラムを片手に、自由に見て回るという形式が取られました。どの部屋でも観客の真剣な眼差しや笑顔はアーティストたちの好演を生み、実験的なコラボレーションは熱を帯びていきました。

さて、SMFのキーワードには「つなぐ」という言葉があります。そこには、「多彩な人材とスペース、財源、ソフトを有機的につなぐことで、アート氷河期を乗り越えて、新たな芸術文化活動の基盤形成を促そう」という思いが込められています。今回の〈夜会〉は、SMFの活動を人々に知ってもらおうという役割だけでなく、この「つなぐ」ということの実践版であったと思うのです。異ジャンルのアーティストや「場」がつながるとどんな化学反応が起きるのか、アーティストは何を得るのか、地域や観客は何を得るのか—これらの答えは、参加したアーティストそれぞれで異なり、その場に居合わせた観客一人ひとりで異なると思いますが、記録を書かせていただいている特権で、私の感じたことを次に書かせていただこうと思います。

その「つながり」がもたらした「化学反応」にはまず、音がした時だけライトが点く暗闇の小部屋でダンスを見せるといった発想やダ



局、事前に考えていた通りのことをそのまましかできませんでした。これはパフォーマンスという表現にとっては致命的なことで、完全に失敗したというしかない有様でした。とはいえ、ダンサーや音楽家、他のパフォーマーの方々はそれぞれがきちんと自分のやるべきことと向かい合い、僕はとても恵まれた環境の中で充実した時間を過ごすことができました。

今回、〈夜会〉に参加したダンサーのほとんどは「モダンダンス」、あるいは「創作ダンス」と呼ばれるダンスをメインとした方々でした。僕は藤井香さんに会うまでモダンダンスも創作ダンスもきちんと見たことがなかったので、できるだけその公演を見せていただいたり、ダンサーの方々と話したりして勉強しました。モダンダンス、創作ダンスのなかにもいろいろな流派があり、今回参加されたダンサーのほとんどは、藤井香さんの父であり、日本におけるこの分野の第一人者であった藤井公さん(1928-2008)の流れを汲んでいる方々でした。ダンサーはいちばん参加人数が多く、本番でしか顔を合わせられなかったメンバーも含めると20名近くが参加しました。そのため、ここで一人ひとりについて言及できないのは心苦しいのですが、それぞ

れがユニークな個性の持ち主でした。一方、音楽については、今回メインで活動したのは柴山研究室で“へんてこな”電子音楽を勉強している窪田航平さん、中村隆行さんと、熊谷周遊でノイズ音楽やバンド活動をしている君嶋桂吉さんでした。君嶋さんは僕の地元の仲間であり、柴山研究室はSMFに参加したときから知っており、どちらも身近な存在でした。これらの方々には楽曲のことだけでなく、照明音響機材などの面でも助け

ていただきました。パフォーマンスには、今回の参加者の誰よりも長い付き合いになる直方平ひろさんとともに参加しましたが、僕にとって直方平さんはひじょうに心強く、とても刺激的な存在でした。

僕は普段から、最終的な結果ももちろんですが、そこに至るまでの過程を大事にして、その間に起こる大小さまざまな変化をいちいち楽しみたい人間です。今回も、できるだけ参加者のみなさんが結果と同様にその過程も楽しめるようにしたいと思いながら取り組みました。何よりも、人と人のつながりを大事にしたいと思っているからです。僕はパフォーマンスという表現を始めてから今まで、いろいろなものをながしるにしてみました。が、「人と人のつながり」というその一点に関してだけは、もっとも大事にしてきたと信じています。それだけは適当にはいけないと肝に銘じ、それだけを頼りに活動してきました。少なくとも、そのおかげで僕はSMFに出会い、藤井香さんに会い、〈夜会〉という機会に、その参加者の方々に出会いました。これからも、その姿勢を貫いて創作に取り組んでいきたいと思っています。

〈夜会〉という場で新たに形成されたつながりをいかに育んでいけるか、試されているのは今、そしてこれからです。

野本翔平 (SMF協力委員)

川口市立アートギャラリー・アトリア	KAWAGUCHI ART FACTORY
<p><b>プログラム</b></p> <p>① ダンス作: 大橋美帆 演: 大橋美帆&amp;出演者全員&amp;踊ってみたい方 作曲: 窪田航平</p> <p>② ダンス作: 久保田紗子 演: 久保田紗子</p> <p>③ ダンス作: 飯江雄 演: 飯江雄、近藤賢</p> <p>④ ダンス作: 岡野真紀子 演: 江崎志雄、岡野真紀子、後井陽</p> <p>⑤ ダンス作: 江崎志雄 演: 江崎志雄、岡野真紀子、後井陽、佐々木治子、松元日奈子 (助演) 東京電機大学学生有志、野本翔平 作曲: 中村隆行</p> <p>⑥ ダンス作: 吉川詩織 演: 田嶋尊佳、戸口美貴、新野あさき、吉川詩織</p> <p>⑦ ダンス作: 上田仁英 演: 高田晴英、青藤智香、高橋瑞穂、別府果菜 作曲: 君嶋桂吉</p> <p>(後者は上映、上映場所は、アトリア裏の両ホール) パフォーマンス: ★1 野本翔平 ★2 直方平ひろ</p>	<p><b>図面内の案内</b></p> <p>[FRONT GALLERY] 18:15~19:35 パフォーマンス: 直方平ひろと 作曲: 窪田航平</p> <p>[SPACE 1] 18:15~19:35 音楽: インストール・東京電機大学理工学部 作曲: 音楽文化研究室</p> <p>[SPACE 2] 18:15~19:35 ダンス: インストール・飯井陽</p> <p>[SPACE 3] 18:15~19:05 ダンス作: 演: 佐々木治子 作曲: 中村隆行</p> <p>[SPACE 4] 18:30~18:45~19:00~19:15~ ダンス作: 藤井香 演: 藤井文江 作曲: 君嶋桂吉</p> <p>[SPACE ZERO] 19:00~19:20~ ダンス作: 演: 松元日奈子と飯井陽 パフォーマンス: 野本翔平、窪田航平</p> <p>19:10~19:30~ ダンス作: 演: 松元日奈子、佐々木治子、松元日奈子</p> <p>19:40~「夜会—まよしとしゃべる会」(アトリア&amp;KAF出演者全員)</p> <p>KAWAGUCHI ART FACTORYでは、各スペースでそれぞれ異なるプログラムが同時進行で行われます。すべてのスペースは自由に見学することができます。また、各スペースには観客のみなさまの安全のために、必要に応じて、スペースごとに観客の人数を制限させていただきます。19:40より、一連のスペース-ゼロにて、「夜会—まよしとしゃべる会」(アトリア&amp;KAF出演者全員)が行われます。観客が定員を超えないよう、ゼロは満席となります。</p>

夜会プログラム